

第5回東アジア首脳会議(EAS)参加国外相会議 議長声明(骨子)
2015年8月6日

- 2015年にEAS設立10周年を迎えることに留意。地域の主要国による、共通の利益及び懸念となる事項の議論を可能にする目的で、EASプロセスの強化について議論。10周年を記念し、将来の方向性を示す首脳宣言の採択に期待。
- 地域における平和及び安定の重要性を強調し、海上安全・安全保障の協力を促進する地域的努力を求める首脳の要請を強調。インドネシア・マナドにおいて第6回ASEAN海洋フォーラムと同時開催予定の第4回拡大ASEAN海洋フォーラム(EAMF)に期待。EAMFのトラック1昇格提案、及びアジア太平洋地域海洋協力を増進させるEAS声明の動きに留意。
- 南シナ海における動向を議論し、南シナ海における平和、安定、安全、航行と上空飛行の自由の重要性を再確認。南シナ海に関連する事項を議論。当事者間の信頼・信用を傷つけ、南シナ海における平和、安全及び安定を損ね得る、埋立てを含む地域における最近及び現在進行中の動向について、複数の大臣によって表明された深刻な懸念に留意。
- ASEAN加盟国と中国が、南シナ海に関する行動宣言(DOC)を全体として完全かつ効果的に履行することを確保し、相互の信頼及び信用を構築・維持・増進し、行動に自制を働かせ、威嚇又は武力の行使に訴えず、関係当事者が1982年の国連海洋法条約を含む国際法にのっとり立場の違い及び紛争を平和的手段によって解決することの重要性を強調。実効的な行動規範(COC)の策定に向けて協議の次の段階に進むとのASEAN加盟国と中国の最近の合意を歓迎し、COCの早期策定を期待。
- 朝鮮半島における最近の動向に懸念を表明し、この地域における平和、安定、安全の重要性を強調。北朝鮮による最近の弾道ミサイル発射に深い懸念を表明。朝鮮半島における信頼醸成に向けた活動の重要性、全ての関連する国連安保理決議の完全な履行、及び当事者による2005年9月19日の六者会合共同声明に基づくコミットメントへの遵守の必要性を強調。平和的な方法による朝鮮半島の完全かつ検証可能な非核化に向け、六者会合の早期再開のための必要な条件を作り出すことを要請。
- イランの核問題に関する包括的共同作業計画を歓迎。
- EAS参加国間の経済関係強化の重要性、及び東アジア地域包括的経済連携(RCEP)の現在の交渉の重要性を認識。
- 総会の再活性化及び安全保障理事会の改革を含む、国連の包括的改革の必要性を再確認。

(了)